



伊藤 富男さん(67) 久恵さん(67) 米山町・中新田 昭和45年10月入籍

お互いを思いやればけんかもない

【2人】23歳で結婚、今年で46年なんだ。16歳の時から付き合っていて、実際は50年以上なんだね。

★なれ初めは

【富男】善王寺なんだけど、登米中に通っていてね。中学校の同級生なんだ。違う高校に進学したんだけど、高校1年の時、友達の間で手紙を送るのがはやってでね。これがきっかけになったんだ。

【久恵】お父さんが手紙が届いて、そこに「お手紙ください」と書いてあったの。久しぶりだなんて返事をして、そこから文通が始まったの。

★印象深い出来事は

【富男】1993年に体調を崩して、会社を辞めたんだね。その後、二人で居酒屋を始めたこと。お母さんがいねげ、今の俺はないね。

【久恵】お父さんの病気が頭部だったから、当時は泣いて暮らした記憶しかないね。

★現在の楽しみは

【2人】パークゴルフと、たまに2人で行く食事会だね。それと孫の部活観戦。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

古里は遠きにありて

豊里町保手の実家を巣立ちはや45年、本年5月で会社生活を卒業しました。現在は、何の縛りもありませんが、不思議と落ち着きのない日々を過ごしています。そんな中、ふるさと回想の機会を頂きました。実家から東を望めば、満々と水を蓄えた北上川があり、西を望めば、笠岳山まで続く田園風景の中で育ちました。なつかしの少年時代。通学方法も徐々に変わっていきまし

仲間たちとザリガニやドジョウ、フナなどを捕まえ、食べたことはよい思い出です。小中時代は「はったぎ取り」や植林活動がありました。家業の手伝いは、農作業と馬車運搬の補助などをしました。当時、子どもが家業を手伝うのは当たり前。干し柿を作るための皮むき、豆腐を作り、干し豆腐にする作業や新用に木を伐採、運搬するなど、数え上げればきりがありません。どれもすてきな古里の情景です。

森田 次男さん(65)

在京豊里会副会長(登米市在京町人会連絡協議会委員) 豊里町保手出身



4年前、在京豊里会総会の席上で、同級生の遠藤富士雄君から「会長を引き受けるので、運営を手伝ってほしい」と声をかけられました。お世話になった地元出身者の皆さんの役に立てればと引き受け、現在に至っています。現在、在京豊里会では多分に漏れず、会員の減少と新規会員が増やせず苦労しています。特に、昭和40年以降に中学校を卒業した皆さんの情報がなく状態です。関東地区在住者の情報をお寄せいただければ幸いです(連絡先0428(31)3227)。「古里は遠きにありて思うもの」。古里のますますの発展を、東京の地から祈っています。

おらほの道の駅

道の駅米山 「ふる里センターY・Y」



米山に花火が帰ってきます

今月は、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の山崎準一郎駅長に話を伺いました。



「皆さんに見ていただきたい」と語る山崎駅長

Q今年の夏は、大きなイベントを準備していると聞いたのですが

8月28日(日)に「道の駅米山花火まつり(仮称)」を開催します(雨天時は、花火だけ29日(月)に順延)。合併前まで米山の夏の風物詩だった花火



小学生たちが熱戦を繰り広げる「丸山杯少年相撲大会」

を、約10年ぶりに打ち上げます。祭りは、花火だけではなく「第10回丸山杯少年相撲大会」「よさこい演舞」「歌謡ショー」を同時開催する、当道の駅の一大イベントです。よさこい演舞は、地元米山を中心とした市内のチーム

が、歌謡ショーは米山出身の豊川あやのさんとさかえ里美さんが出演します。Q非常に豪華な内容ですね。今から楽しみです。花火や歌謡ショーだけではなく、少年相撲大会も見所満載ですよ。先日、丸山杯で活躍した米山中の下山謙信君が、県大会で優勝し、全国大会行きを決めました。非常にうれしいことです。

皆さん、ぜひご来場ください。【問い合わせ】道の駅米山「ふる里センターY・Y」 0220(55)2747

まちの文芸 短歌

作品募集! ●9月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、7月29日(金)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

熊さんが竹の子取りを狙い打ち 車と家族只泣くばかり 近より見れば心とみて 沼の辺をポコンポコンと熊走る テレビで見るは怖くなけれど 木漏れ日を好める庭の山野草 木の茂み切り生き生きと見ゆ 蟻の皮透明の網目あり 形崩れず今朝の脱皮か

吉田まさよ (迫) 星 (迫) 二ノ神武志 (迫) 熊谷タヘ子 (中田) 千葉 源治 (中田)

穏やかな笑みで応える挨拶の 老夫婦さわやか初夏の登山道 肩痛め医院に急ぎ速やかな 治処置うけて深謝し帰つ 湯の浜の砂踏みたるはいく久し 孫の歓声我が子と重ねつ 陽ざし待ち漸く咲きしかたくりは 俯きながらツンとおすまし

及川 慎一 (中田) 千葉たかこ (米山) 佐々木まき (石越) 三上久美子 (南方) 阿部 洋子 (津山)